

浜松市民

ひとこと



栗野 航

厳しいチャレンジ
僕は高校に入ってから剣道部に入り、剣道を始めました。当然初心者は僕だけだし、とても厳しい道のりでした。しかし仲間が温か

く迎え入れてくれ、先生や先輩に指導していただき、なんとかやっています。もっと早く強くなつて、自分の役割を果たすことができるよう努力します。
(浜松湖南高一)

女性管理職増へ環境整備

市、25年度までに15%目標

浜松市は、市職員の女性管理職の割合を、二〇二五年度までに15%に増やすなどとする「はままつ女性職員活躍応援プラン」の原案を公表した。男性の育児参加支援なども盛り込み、誰

もが働きやすい環境づくりを目指す。十六日の市議会総務委員会で市の担当者が明らかにした。市人事課によると二一年四月現在、市の女性職員は全体の35.2%だが、女性管理職員の割合が伸び悩む要因として、仕事と家庭の両

立に悩む職員が一定数いることが分かった。プランでは、二二年度からの五年間で、女性管理職員との意見交換や、出産や育児などのライフステージの変化を見据えた研修の実施を通じて改善を図る。また、男性職員の育児休業率も7.4%(一九九年度)と低迷していることから、育児参加や多様な働き方などを促進させ、15%に増やす。

(渡辺真由子)

デジタル活用高め 若年層へ情報発信

市が戦略を公表

浜松市は十五日の市議会総務委員会で、デジタルを活用した情報伝達の戦略を示す「市デジタル・マーケティング戦略」を公表した。若年層や県外居住者などへの情報発信にデジタル媒体の活用比率を高め、効果的な発信を進める。戦略では、紙媒体とデジタル媒体の比率を年齢などに応じて変化させる。動画やホームページなどは作るだけでなく、どの程度情報がちんと届いているかを確認するために「作る・届ける・分析する」の三工程の予算割合を「3:6:1」に配分することを示している。

同日の委員会では、市側が職員を六十一人減員する「定員適正化計画」も示した。感染症対応と児童相談所での児童福祉相談業務にそれぞれ四人を増員するなど、全体で百四十六人を増員する一方、ごみ処理業務の見直しや幼稚園クラスの減少などにより、二百七人を減員する。市全体の職員数は、二〇二五年度に九千七十七人となる。

市整備部に政策調整員を置く。市都府庁で、市健康増進課の組織改正で、市健康増進課内にウエルネス推進担当課長を新設する。病気や介護予防に官民連携で取り組む「浜松ウエルネスプロジェクト」を進めるため、中心的な役割を果たす。四月一日付。十六日の市議会厚生保健委員会でも市側が明らかにした。

(渡辺真由子)

佐久間病院 療養病床を廃止 21年度

浜松市は二〇二二年度、佐久間病院、在宅医療に切り替えるという。

(天竜区佐久間町)の療養病床二十床を、療養病床の廃止で空いたスペースは、一般病床に入院する患者向けの処置室やリハビリ室、相談室として活用し、入院環境を改善する。看護士の再配置も進める。病院の担当者は「将来にわたって病

も課題がある。二〇一八年に市が策定した図書館ヒジヨンでは、知的拠点としての機能充実、ユニバーサルデザインなどを掲げる。市は二二年度一般会計当初予算案に、関連費用約五億三千八百万円を計上した。

市は二二年度一般会計当初予算案に、関連費用約五億三千八百万円を計上した。

(坂本圭佑)

土地台帳など閲覧 窓口業務を廃止へ

22年度末で

浜松市は二〇二二年度末で、土地台帳と家屋台帳、土地台帳の窓口閲覧業務を廃止すると明らかにした。インターネットで閲覧できる環境の整備が進み、需要が減少傾向にあった。十六日の市議会総務委員会で市側が明らかにした。市資産課によると、これまではいずれも市役所資産課や各区役所窓口で有料での閲覧が可能だった。窓口閲覧廃止後、土地台帳と家屋台帳は、法務局が提

供する登記簿で閲覧できると。土地台帳は、市ホームページで二二年九月から無料公開するデジタル地番図で確認できる。所有者などの資産を一覧でまとめた名寄帳の窓口閲覧は継続する。一九年度の名寄帳を含む土地台帳などの閲覧件数は約一万八千件。〇九年は約六万八千件で、十年間で約六割減少していた。工事は七月から開始し、外壁や内装などを改修・更新するほか、事務室や受付付け準備室、参考室、郷土資料室などのレイアウトを変更する。飲食コーナーやボランティア室、多目的室を新設する。市によると、現在の図書館は一九八一年に開館し、老朽化が進むほか、職員執務室が館内の五カ所に分散するなど配置に

「子ども」も「あなた」のもの。他人に「嫌がる場所がないよ」と話して、幼少の体や気持ちの意識を持って語った。子どもの言葉には必ずその際は必ず分のノー、た言葉に力

20歳の自分へ

県居小生 タイムカプセル

昨年創立百周年を迎えた浜松市中区の県居小学校で、卒業を控える六年生四



タイムカプセルを入れる児童 浜松市中区のあいホールで

わが子への性教育 幼少期から大切に

わが子への性教育 幼少期から大切に タレント招きトーク

動画投稿サイト「ユーチューブ」で性教育をテーマにした動画を配信するタレントのSHELLY(シェリー)さん(左)を招いたトークセッションが十四日、浜松市中区のあいホールであった。性教育やジェンダ



遠藤進学院長から証書を受け取る卒業生 浜松市浜北区的なめた浜北ホールで

「学んだ鍼灸 日々磨く」

浜松医療学院 65人卒業式

専門学校浜松医療学院(浜松市浜北区)の卒業式が十六日、区内の複合施設「なめた浜北」であった。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、来賓の参加者など規模を縮小したが、鍼灸、柔道整復、アフレテック、トレーナーの各科で学んだ二十一歳から六十三歳までの計六十五人が卒業

証書を受け取った。遠藤進学院長は、式辞で「常に感謝の気持ちを忘れないでください」と述べ、「皆さんが人生を歩む中で、この言葉をどこか心に刻んでほしい」と激励した。卒業生代表で鍼灸学科の小林奈奈さん(二二)は「西高出身は少しでも多くの人々を笑顔にするため

に、自己研鑽を重ね、日々精進する」と答辞を読み上げた。同校は二〇一四年四月に開校して、卒業式は十八回目。鍼灸と柔整両学科の卒業生はすでに国家試験を終え、二十六日の発表待ち。アフレテックトレーナーは筆記、実技ともに試験を終えている。卒業生は鍼灸院や接骨院、整骨院、プロアマアスリートのトレーナーとして活躍している。

(伊藤一樹)



トークセッションで性教育を語るシェリーさん 浜松市中区のあいホールで